

ツクシシャクナゲ

学名 *Rhododendron degronianum* Carr. subsp. *heptamerum* (Maxim.) Hara

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

岩石の多い林内に生育し、個体数はかなりみられる。庭木や盆栽として幼木から成木まで採取の対象となり、生育地や個体数の減少が懸念される。

| | |
|-------|---|
| 県内分布 | 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域 |
| 分布域 | 本州(中部地方西部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎) |
| 世界的分布 | |
| 生育環境 | 丘陵地から山地の岩の堆積した林内。 |
| 現状 | 比較的人の立ち入りやすい「九重火山群」, 「津江山地」の一部では, 盗掘跡をみかけることがある。 |
| 備考 | 国指定天然記念物「犬ヶ岳のツクシシャクナゲ自生地」(耶馬溪町), 県指定天然記念物「鹿嵐山のツクシシャクナゲ群落」(院内町), 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾] |